

AIは「知識」ではなく 「仕事のやり方」を学ぶ

あなたの仕事は、AIに教えられるですか？

今日の問い：毎週の仕事を、新人へ説明できる形に分けられますか？

AIが学ぶものが変わった

文章や知識から、PC操作と業務手順へ

これまで

AI → 文書を読む
→ 質問に答える
→ 下書きを作る



いま

AI → 人の操作を見る
→ 判断順序を学ぶ
→ 手順を再現する



次の段階

AIが一連の仕事を
人と分担して
実行する

ポイント：AIに仕事を任せるには、暗黙の手順を言葉にする必要がある

企業が「仕事の進め方」をデータ化し始めた

当日のニュース紹介 | 2026年8月13日

AIに教えるのは、答えだけではない

PC上の操作、判断の順番、
途中で参照する資料など、
人の実務フローが学習対象へ。

仕事を分ける目安

5～7

工程に分解して、AIと人へ振り分ける

AIが必要とするのは、正解だけでなく「そこへ至る手順」と「判断条件」

出店開発の仕事に置き換えると？

「候補物件を調べ、周辺環境を比較して、
上司へ分かりやすく報告して」

① 情報収集

物件情報 / 条件 / 周辺
データ

② 確認

地図 / 商圈 / 競合 / 現地
情報

③ 整理

比較表 / Excel / コメント

④ 報告

要点 / 推奨案 / 次の行動

AI化の入口は「仕事を工程に分ける」こと

AIに教えるのは、3種類

作業手順だけでなく、判断基準と例外も渡す

手順

何を
どの順番で
行うか

基準

何を見て
良い・悪いを
判断するか

例外

どこで止めて
人へ確認を
戻すか

新人に教えるつもりで

目的 → 手順 → 判断基準 → 例外 → 完了条件

AIと人間の役割を分ける

全部を任せるのではなく、得意な部分をつなぐ

AI

情報収集
整理・分類
比較表づくり
下書き

人間

目的を決める
最終判断
相手との対話
結果への責任

境界

承認・送信・発注は
人が確認してから
実行する

基本ルール

AIが作業し、人が意味と責任を持つ

個人利用から「会社の業務」へ

プロンプトの工夫だけでなく、業務フロー自体を見直す

IBM × OpenAI

中核業務や複雑なワークフローへのAI導入を支援。
数千人規模の専門組織を立ち上げ、業務変革を進める。

会社側の準備

手順書、社内データ、判断基準、権限、承認ルールを整える。
AIが安全に働ける環境を会社側で用意する。

SSSCで考える

「ChatGPTを使う会社」から「AIが働ける会社」へ

自分の仕事を、新人に引き継ぐなら？

① 毎週繰り返している仕事は何ですか？

② その仕事は、どの順番で進めていますか？

③ どこで人の経験や判断が必要になりますか？

最後の問い

あなたの仕事は、AIに教えられる形になっていますか？

仕事を1つ、5～7工程に分ける

例：物件調査 → 地図確認 → 競合調査 → 比較 → 報告

仕事の目的は？

最初の入力は？

AIに任せる工程は？

人が判断する場所は？

15分ニュース → 15分ワーク